

教育長 敷地内全面禁煙の実施は、市民参加事業の開催や、学校施設の開放事業等で来校される外部の方々が多いため、現在、実施には至っていません。

今後は、来校される方々に対し、ご理解、ご協力をいただけるよう敷地内全面禁煙の実施に向けて、周知したいと考えています。

ふれあいバス運行事業

問 検討協議会が開催されたと聞いているが、どのような検討が行われたのかに充実されるのか伺う。

市長 協議会では、この2月まで、延べ5回にわたり検討・協議が行われ、ふれあいバスの運行事業の見直し、充実に関する協議内容を取りまとめました。提言書を、去る2月16日にふれあいバス運行協議会会長より受理しました。今回の協議会では、ふれあいバス運行事業の所期の目的である市民の日常生活における利便性の向上と公共の福祉の増進を図ることともに、児童・生徒の安全確保の観点から、提言をいただいています。市としても、ふれあいバスのさらなる充実を図

るために、その提言内容を尊重し、適切な改正を行いたいと考えています。

個人質問 川上 雄次

本市の特色を生かした経済活性化策

問 近隣市ではすでに運行されている、首都圏との高速バス路線を、本市も八街駅北口と東京駅などと結ぶ、バス路線として開設を誘致すべきと思うが如何か。

市長 東京駅や浜松町バスターミナル、羽田空港など首都圏と県内各地を結ぶ高速バスが県内各地から運行され、通勤、通学や県外からの観光などに利用されています。この平成19年度には、八街駅北口ロータリー

の供用が開始される予定ですので、このことも含めてバス事業者と路線の開設について話し合いを続けたいと考えています。

八街市の観光農業振興や「市民農園」への取り組みを伺う。

市長 当市の観光農業振興は、昭和48年4月23日に設立した八街市観光農業協会を中心として、さつまいも・落花生の掘取園・貸し

農園を推進してきましたが、時代の流れや会員の高齢化に伴い経営が変化し、現在は11名の会員によりイチゴ狩り、さつまいも、落花生掘り、とうもろこしもぎ等の観光農業を展開しています。今後、会員と十分協議しながら観光農業の推進を図りたいと考えています。

次に、市民農園への取り組みは、近隣の事例におけるさまざまな問題点を考慮しながら、地域農業者等の意向を十分に把握し、計画的な整備を図られるよう調査・検討を行うとともに、市民農園開設者に対する情報提供や支援を積極的に行いたいと考えています。

民間委託と指定管理者制度

問 行政改革の推進策として今後、どのような民間委託と指定管理者制度活用を考えているのか伺う。

市長 民間委託等の推進に向けた基本的な考えは、市の施設の管理運営や市が行う事務事業について、公共性や行政責任が確保できることを前提に、経費節減が図れること、サービス水準

を維持、または向上できること、市が自ら行う必要がないことなどを視点に仕分けをし、さらに定員適正化計画を視野に入れた上で、民間への委託等を進めようとするものです。

学校給食センター第1調理場における調理業務の民間委託は、業者選定を行うため、平成19年度学校給食センター事業特別会計予算案第2条債務負担行為を上げました。

問 図書館やスポーツプラザ、幼稚園などの管理を民間委託する考えはないか。

市長 集中改革プランでは、図書館やスポーツプラザなどの教育施設について、施設の設定目的、サービスの向上、経費節減などの観点から指定管理者制度を含め合理的な管理運営方法の検討を進め、適時移行していくとしています。また、その他の公の施設も、指定管理者の導入に向けていろいろな角度から調査研究を進めていく考えです。

入札と発注

問 入札の公正、公平性、透明性などを、どのように確保しているのか伺う。

市長 本市では、入札の公正、公平性、透明性の確保に当たり、これまで様々な改革に取り組みましたが、その中でも大きな改革の1つとして、一般競争入札の導入が挙げられます。一般競争入札は、現在、競争性、透明性の最も高い入札制度であるとされており、本市では平成6年度から試行実施を開始し、その後、平成11年度から本格実施を開始しました。

地球温暖化防止の為、物品調達グリーン購入を推進する自治体が増えていますが、取り組みを伺う。

市長 循環型社会の形成のためには、再生品等の供給面での取り組みに加え、需要面からの取り組みが重要であるという観点から、平成12年5月に「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」、いわゆるグリーン購入法が制定されました。グリーン購入法に基づき調達方針は作成していませんが、特定調達品目とされる紙類、文具類、OA機器、照明機器、自動車、作業服等の購入には、グリーン購入法に適合した環境物品の購入に努めています。

問 八街駅自由通路の管理と通行の安全策は万全か。

市長 防犯カメラを自由通路及びエスカレーターに設置したことにより、ベンチの破損や消火器の悪戯などの件数が減少しているため、防犯カメラ設置は効果があったものと考えています。

また、雨天時において、自由通路等床面の御影石部分が滑りやすい状況であることから、通行の安全が図られるよう対応策を検討したいと考えています。

市民の安全環境整備

市民の安全環境整備

問 バリアフリー推進の施策を伺う。

市長 少子高齢化の進展に伴い、だれもが暮らしやすい環境作りとして道路や交通機関、公共施設などでは、バリアフリー化を図っているところです。

しかし、道路や公共施設は、まだまだバリアフリー化を進めるべきところは多く残されているので、今後も新設のみならず改修などの機会を捉え、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点を取り入れながら、その整備を図り、すべての人にやさしい街づくりを推進したいと考えています。